※令和４年度以降入学生用

学校番号	413

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	詳述公共　（実教出版）						
副教材等	ライブ！2023 公共、現代社会を考える　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・選挙権が拡大されたことで高校生も有権者となります。有権者として国の行く末や他国のかかわりを主体的に考え、表現できる力を養いましょう。
・社会にある制度や法について、疑問を持ち、なぜそれが必要なのか考え、どう行動していくか考える習慣をつけていきましょう。
・資料の読み解きやグループワークを行っていくので、受動的な姿勢ではなく、能動的に取り組んでいくようにしましょう。

２　学習の到達目標

・人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけることができている。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を備えることができている。	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編公共の扉	・社会を作る私たち ・人間としてよく生きる ・社会とは何か ・民主国家における基本原理	a: 自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 b: 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	第2編　よりよい社会の形成に参加する私たち	・日本国憲法の基本的性格	a：我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるようにするとともに、我が国の防衛に関する基本的な事柄にも触れながら、変化する国際情勢の中で、我が国の安全が世界の平和の維持といかに不可分に関連しているかについて理解している。 b：自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c：よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート
2学期		・日本の政治機構と政治参加 ・現代の経済社会	a：現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 b：自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c：よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		・経済活動のあり方と国民福祉	a: 多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 b: 日本経済の基盤ともいえる中小企業が、自立的に成長していける環境を作り出すためにどのような政策が必要か、協働的に考察し、その結果を適切に表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、ワーキングプアの解消やワーク・ライフ・バランスの実現を目指して、学習した内容を社会生活に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート
3学期		・国際経済の動向と課題	a: 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課	定期考査 確認テスト	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	第3編　持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・持続可能な社会づくりの主体となる私たち	題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。 b: 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 c: 自由貿易を推進するメリットと、近年先進国が保護貿易的な動きを見せていることについて主体的に探究して、望ましい貿易のあり方を意欲的に探究しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度